

# いだがわ

令和5年1月12日発行  
亀山市立井田川小学校  
亀山市みどり町52  
1月号（文責：清水）

## 3学期がスタートしました！

1月10日火曜日、令和4年度の3学期がスタートしました。始業式では、校長から3学期の学習への取り組み方と新型コロナウイルス感染症対策の話をしました。現在、三重県でも新型コロナウイルス感染症の第8波が到来しており、1月中旬から下旬にかけてピークを迎えるといわれています。学校においては、第7波のときには一般にピークより2週間程度遅れて、感染者の急激な増加が見られました。



今後、学校現場がどのような状況になるか予測困難ですが、学校教育の継続を第1番に考え、学校運営にあたってまいります。また、3学期には「卒業式」など学校の中でも特に大切な行事があります。教育委員会からの指示を踏まえ、感染症の状況及び学校の実情に応じて実施にかかる判断をまいります。

## 学校教育活動アンケートにご協力ありがとうございました！

保護者の皆様には、学校教活動アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。アンケート結果の集約をご報告させていただきます。児童及び保護者の皆さまから頂いたご意見を真摯に受け止めるとともに、今後の教育活動に活かしていきたいと考えております。これからもご理解・ご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

設問によっては、アンケート結果の合計が100%にならないものがあります。1/10以下を四捨五入する処理を行った結果ですのでご了承下さい。

## ～アンケートの分析・考察～

### 《児童アンケート》

学校生活について、昨年度ですべての設問で最上位回答（そう思う）が増加しました。一方、「ややそう思う」を合わせた肯定的な回答でも、前年比を上回る結果となりました。これは、新型コロナ感染症禍においても、できる限り感染症対策を考慮したうえで実施してきたこと、校外での学習や外部講師を招いての学習など、通常の教育活動に近づけたことにより、学校生活の楽しさを感じる場面が増えたものと考えられます。今後も続く、新型コロナ感染症により学校生活が制約を受ける中、子どもたちの学校生活の充実のため、教職員一同工夫していきます。以下には、良好な事項、心配な事項などについて、考察を交えてご報告いたします。

○「学校生活が楽しい」と感じている児童の割合が昨年度より増え90.7%とある一方、9%の児童が学校生活に楽しさを感じにくい状況にあることが分かりました。学習理解や人間関係など、総合的に影響する項目であり、学校生活における居場所づくりや学習活動への参加を实

感できるような工夫に取り組む必要を感じています。

- 「学校の授業はわかる」「授業に集中して取り組んでいる」など、学習に関する設問への肯定的な最上位回答が前年比で増加しています。「ややそう思う」を含めた肯定的な回答も昨年度を上回っています。新型コロナウイルス感染症禍にあっても、日常の学習はもとより、校外学習や外部講師の招へいなど、体験的な学習が増加したことが要因と考えられます。一方、否定的な回答も9パーセント程度あることから、日常の授業改善や教材研究により、さらに改善を目指す必要があります。
- 「授業で自分の意見や考えを公表している」は、肯定的な回答が約69%で、昨年度からは肯定的な回答が増えたものの、消極的な児童が多くいる現状を示しています。話し合い活動が行いにくい状況ですが、授業の中で、自分の考えを持ち、表現する機会を保障していくことが、意欲につながるものと考えます。

## 《保護者アンケート》

前年度比で、多くの項目で昨年度よりも肯定的な回答を多くいただきました。以下には、井田川小学校の特徴と思われる事項や大きく回答に変化のあったものについて、分析・考察を記述いたします。

- 「学校行事は充実していると思いますか」について、昨年度比で15%ほど肯定的な回答が増えました。本年度は、感染症禍においても予定された学校行事を計画通りに実施してきたことへの評価をいただいたと受け止めています。また、学校オープンウィークも予定通り行い、保護者に授業を参観していただく機会も設けました。PTAにおいても、同様に予定された行事を行っています。子どもたちの学校生活の充実に向け、今後も努力してまいります。
- 「学校は地域の（ひと・もの・こと）にふれる校外学習や、地域の人に学校に来てもらって行う学習を積極的に進めていると思いますか」について、肯定的な回答が5パーセントほど増加しました。感染症禍であっても、校外学習や外部講師の招へいなど、体験的な学習を実施してきたことを評価していただいたと考えています。体験的な学習は児童も楽しみにしていることから、次年度においても可能な限り取り入れていきます。
- 「学校の教育目標や方針はわかりやすく伝えられていますか」「学級や学校の様子を便りやホームページなどで、積極的に家庭に知らせていると思いますか」の肯定的な数値が増加したものの、いっそうの改善を望む声をいただきました。HPなどの更新が、特徴的な行事などのみになっていることが原因と思われます。HP、学校日より、学年日より、PTA総会などの直接対話など、積極的な情報の発信に努めてまいります。

## 《アンケート結果の活用について》

今回のアンケート調査の結果を踏まえ、学校は「学校自己評価」を行い、その適正について「関係者評価」を評価委員（学校運営協議会委員）からお受けすることになっています。そこでいただいた評価も生かしながら、教育活動の改善に取り組んでまいります。

**アンケート結果については、井田川小学校 HP に掲載します。**学校ホームページトップ画面「教育活動アンケート」をクリックしてご覧ください。